

## (32/40ピン共通)GBA 3インチ 720x480 LCD キット

+ HDMI Dock

このキットは、ゲームボーイアドバンスを液晶画面にして、  
更に HDMI 出力、SFC 用コントローラー、Wii 用コントローラー端子の  
互換コントローラーを使用する事が出来る、GBA HDMI 出力+バックライト  
液晶と GBA Station Dock が一枚の基盤になった物になります。

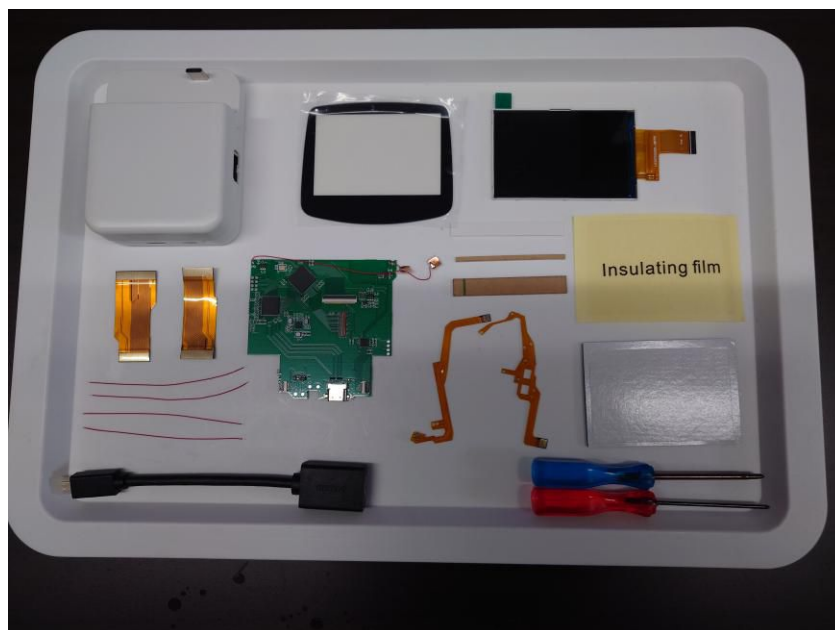
液晶画質も720X480になり現時点での本体改造の集大成的なキットかと  
思います。HDMI 出力、外部コントローラーの使用には、本体にドックを  
接続して使用します。今回のキットは、シェルのカットする部分が多めに  
なっていますのでルーターなどがあると加工し易いと思います。

半田作業もそこそこあります。

### 用意する物

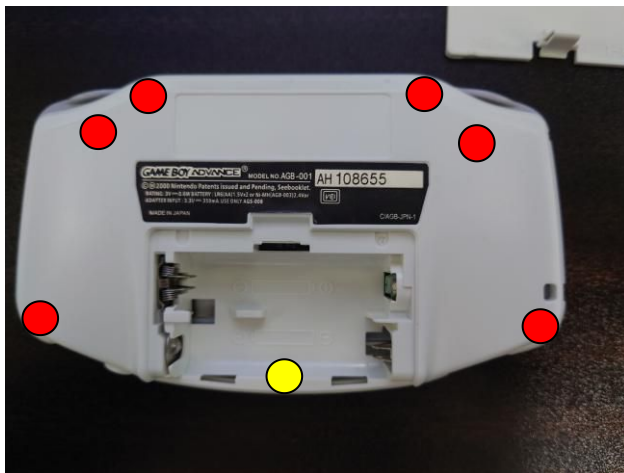
1. 本体基盤
2. 半田付けがリード線3本と、フレキシブルケーブルに12箇所とチップ抵抗  
を1つ外す必要がありますので半田こて、ピンセット等が必須です。
3. シェルの加工が必要ですので、カッター、ニッパー等が必要になります。  
ルーターがあると便利です。
4. GBA を分解するために GBA 用 Y 字と十字ドライバーも必要です。

内容物の確認です。



内容物	個数	用途
HDMI 接続、コントローラードック	1	外部接続のため
メイン基盤	1	メインの基盤
フレキシブルケーブル(左、右)	2	メインの基盤接続用
ワイヤー	4	取り付けに3本必要
液晶固定用両面テープ	1	液晶を固定します。
液晶調整用プラ板(細、太)	2	液晶位置調整の板
スポンジ両面テープ(太用)	1	液晶調整板の固定用
液晶裏面ショート防止シール	1	液晶裏面ショート防止
メイン接続用フレキシブルケーブル	2	32ピン用と40ピン用があります。
液晶画面	1	3インチ液晶
HDMI 変換ケーブル	1	ドック接続用の変換ケーブル
Y 字、+、ドライバー	2	シェル、基盤、外し様

### 1. シェルを外します。



- の箇所をY字ドライバーでネジを外す
- の箇所を十字ドライバーでネジを外す

シェルが外れます。

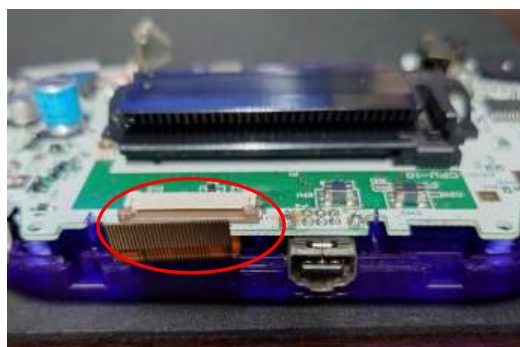
### 2. 基盤のネジを外す



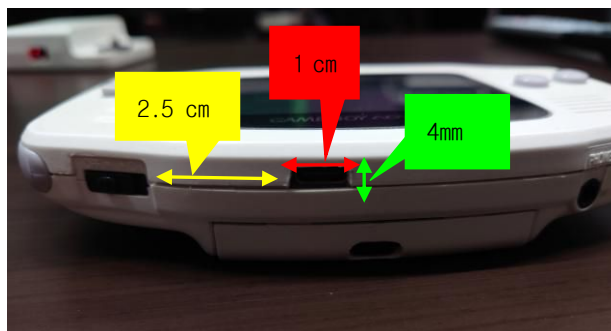
- の箇所を十字ドライバーでネジを外す
- ※アンプを取り付けてますので余計基盤が付いてます。

基盤が外れます。

### 3. フレキシブルケーブルを外し、シェルの加工をします。



基盤と上部(液晶側)が外れますので、まず液晶側からの加工をしていきます。



位置的には、図の位置ぐらいです。カッター、ニッパ等で USB 端子がはまり、キット基盤が形にしっかりとハマる様に加工する。

次に液晶画面の取り付けをしていきます。

シェル液晶側のレンズを交換する場合は外してください。シェルを捻る様になると取り易いです。捻り過ぎてシェル割らないようにしてください。

今回は、液晶対応シェルを使用しましたので、対応していないシェルを使う場合は画面の外枠部分は液晶に合わせてカットしてください。詳細は他の液晶キットの説明を参考にしてください。では、シェルの加工をしていきます。



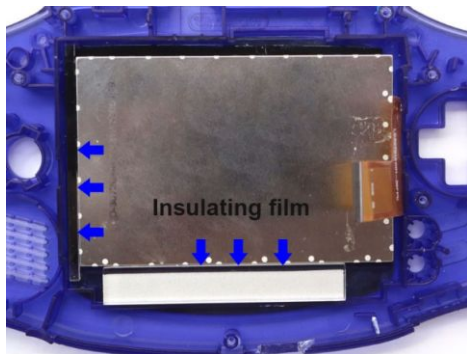
フレキシブルケーブルに干渉するのでここをカットしてください。



図の黄色の枠のところを平らに削ります。削り終わったら図のように両面テープ液晶用と位置調整(太)両面テープを貼ります。



液晶の裏面にショート防止シールを貼り。シェルの液晶固定の両面テープの画面部分を剥がし、両面テープの固定箇所と位置調整の両面テープの皮をめくり、調整用のプラ板を図の矢印の場所に固定します。



調整板に合わせて液晶を固定して、キット基盤をはめて液晶のフレキシブルケーブルをコネクタに固定、色調整、明るさ調整のセンサー部をシールになっているので好みの位置に貼り付けます。



本体基盤に接続するフレキシブルケーブルをコネクタにつけます。  
本体のバージョンによって 32 ピン用か 40 ピン用のどちらか使用してください。  
ここまでで、液晶側の作業は終了です。  
つづいて、裏側シェルの加工をしていきます。



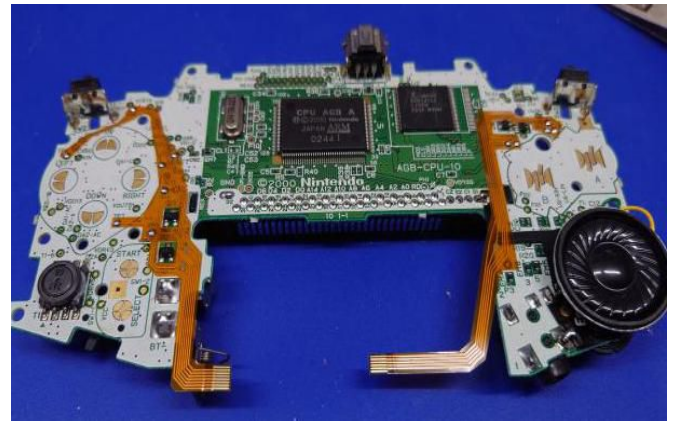
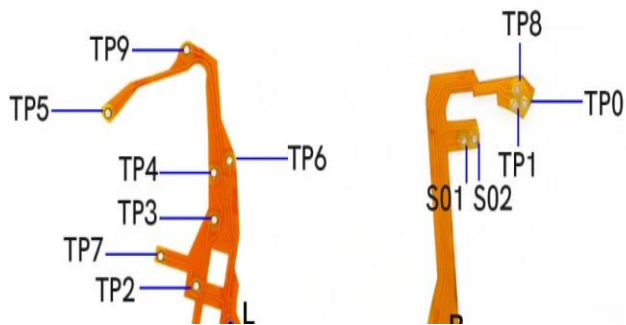
赤い囲いの場所を切り取ります。ルーターなどを使ってカットすると楽に出来ます。  
このカットをしないとキット基盤と裏側シェルが干渉してシェルが閉まりません。



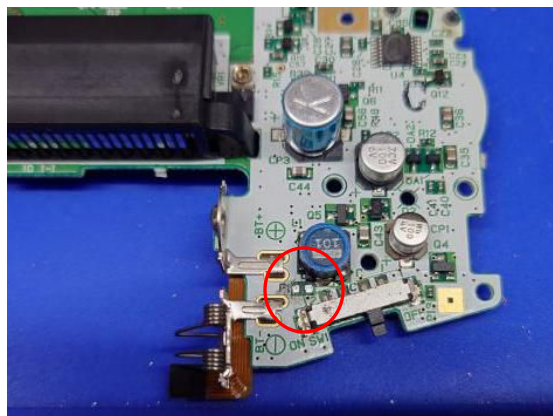
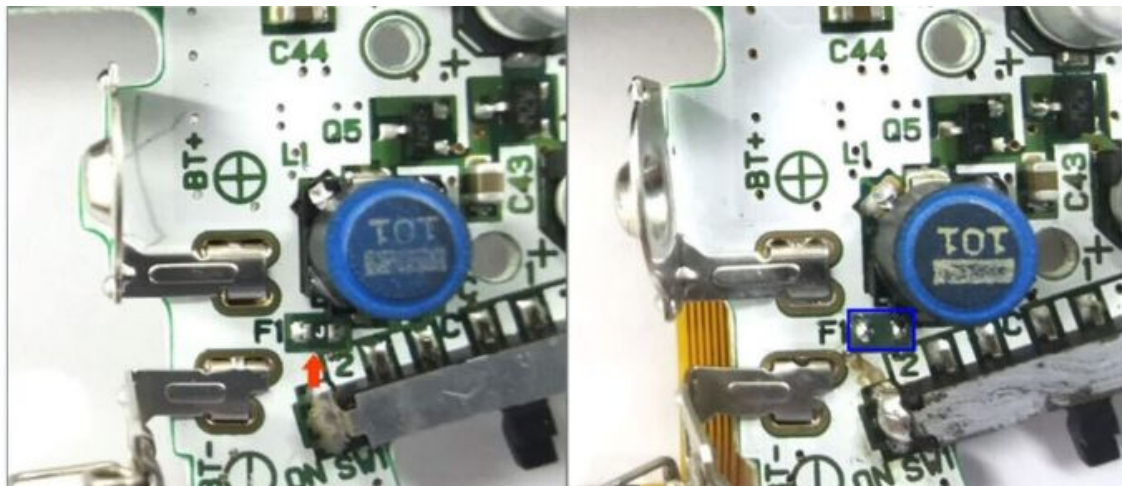
位置的にちょっと干渉していたので調整しました。その時にいろいろとヒビが入ってしまった…まあ、電池やバッテリーで隠れるので気にせずに。  
シェルの加工はこれで終わりです。  
続いて、半田作業です。



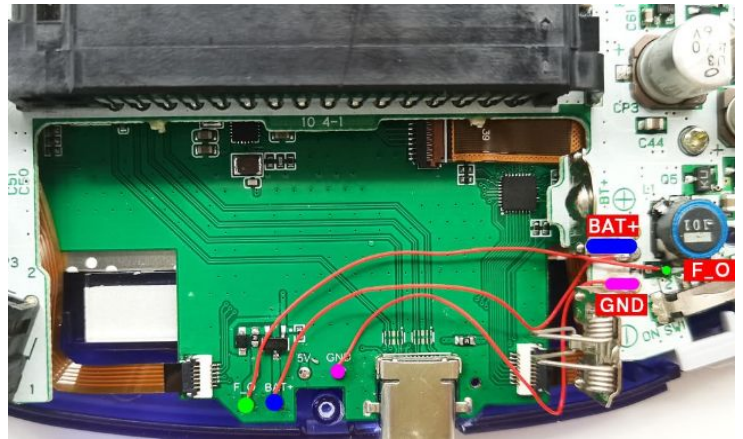
本体基盤にキットに接続するフレキシブルケーブルをシールになっているので位置を合わせて貼っていきます。半田箇所がスルーホールになっており半田作業に影響が出ますので、ずれないように貼ってください。



図の箇所、12箇所を半田していきます。こて先を長く当てるとフレキシブルケーブルが溶けたり不具合が出ますので素早く正確に作業しましょう。



次に基盤の裏側、スイッチの近くの基盤 F1 表記のチップ抵抗を外します。こて先を両端子に素早く交互に当てると取れます。取り難い場合は低温半田とかを使うと取り易いです。外した後は吸い取り線などできれいにおきます。



液晶側シェルに本体基盤を付けていきます。この時に十字、各ボタン、ラバーを忘れずに、キット基盤のフレキシブルケーブルも上に出しておくのと、スピーカーを固定位置にしっかり入れてください。ねじ三箇所をとめます。

付属のワイヤーを3本使って図のとおり半田をします。

左右のフレキシブルを図の赤丸のコンネクターにしっかり付けて下さい。



キット基盤の上側のフレキシブルケーブルを本体基盤のコンネクターに付けて裏のシェルをはめて、ねじをとめて完成です。







動作確認ですが、特に問題なく、HDMI 出力、コントローラー操作も問題なく遅延も感じません。液晶も解像度が上っており、綺麗に映っています。

スーファミのコントローラー以外でスーパーファミコンミニのコントローラーも繋いでみましたが、問題なく動いています。

以前の HDMI のキットと GBA Station Dock の組み合わせより、上部に HDMI ケーブルを挿して少し足場が不安定だったのがなくなり快適になっております。

最後に L+R+セレクトで出るメニューについてですが、本体プレイ時 HDMI 出力時では少し内容が変わります。以下説明です。



HDMI 出力時



ゲーム本体時

HDMI 出力時は、アスペクトレシオの項目があり、ノーマル、拡大、フルの 3 つから選べます。

ゲーム本体時は、ブライトネスと、ピクセルエフェクトがあり、明るさ 15 段階と、スキャンライン的なエフェクトが 4 つ選べます。

共通項目として、カラーモード 8 つの色を変えられます。

FRM はフレームレート修正らしいです。タッチはタッチセンサーで明るさ、色が変わるのをオン、オフできます。

ファクトリーリセットは工場出荷状態に戻せます。